

当院でのBCPについて

岡山光南病院・こうなんクリニック副院長 橋本 健三



皆さん、BCPってご存知でしょうか？

BCPとは「Business Continuity Planning」の頭文字で、日本語では「業務／事業継続計画」になりますが、なかなかわかりにくいと思います。

例えば南海トラフ地震のような災害など不測の事態が起こった場合に、事業継続にかかる対策をしていなければ、その対応が遅くなり、入院患者の治療継続など業務の継続が困難になるかもしれません。

BCPは被災時などに被害を最小限に抑え、病院運営の復旧・継続を図るための準備として立てておく計画の事です。

現時点で作成義務が課せられているのは赤十字病院などの災害拠点病院のみですが、当院でも年初めよりBCP委員会の検討を開始し、2018年6月にBCP委員会を立ち上げました。

2018年は6月の大阪府北部地震に始まり、7月の豪雨、台風や9月の北海道胆振東部地震など被害の大きい災害がいくつも起こりました。特に晴れの国といわれる岡山でさえも予想外の豪雨により倉敷、総社ほかに未曾有の被害をもたらしました。ちょうど上記の災害と時期が重なり、委員一同、BCPの必要性を強く感じています。

また、BCPは法人職員が一丸となって対応することが必要です。職員の意識を高めるために委員会コアメンバーによる防災通信メールの配信をはじめ、防災についての知識や災害時の対応方法などを共有していこうと思っています。

ところで、防災訓練とBCPは何が違うのでしょうか。

防災訓練は人命救助を最優先として行動し、火災、地震、津波、洪水など一つ一つの災害を想定して訓練を行います。一方BCPではあらゆるリスクを前提にし、どのような被災であれライフライン（例えば電気、ガス、水道、排水など）の欠如時、どのように対応すればよいかを考え、行動していくかを定めるものです。

また、医療機関の場合は、病院の継続（例えば病棟の患者さんの治療継続）ができないとなれば直接人命に関わります。熊本地震では当院と同規模病院が被災により患者全員を他院へ転院せざる得ない状況になり、46人中17人が死亡されたと報告されています。当院は回復期病床のため、急性期のような重症患者は少ないですが、酸素吸入、痰吸引などの処置ができなくなれば人命に関わります。病院運営を継続することが患者の救命に直結するため、BCPが必要になります。

まず、大切なことは、被災時の被害を把握することです。南海トラフ地震を想定した被害予測が、岡山市のハザードマップに詳細に提示されています。当院付近は、震度6弱の地震が発生し、液状化の危険度は高く、地震発生後170分で0.3-1.0mの津波が到達するという予測です。当院のBCP委員会では病棟入院患者の安全を3日間確保するという具体的な目標をたててBCP計画を作成中です。停電時の対応、食料・飲料の備蓄、トイレの問題、通信手段確保などさまざまな事態を想定して情報収集しながら対策を考えています。各部署（当院であれば本部、病棟、在宅部門、訪問看護、通所リハなど）の管理者にも委員として参加してもらい、実際被災した時に何を確認し、用意し、行動すればよいか検討しています。



BCPは一度作成すれば終わりではなく、PDCAサイクルに基づき、訓練、検証、再考しながら時代に応じたよりよいものに変化していくべきです。まずは院内の安全を確保した上で、在宅医療や地域での対応を検討していこうと考えています。当院でもまだまだ模索中ですが、各施設・医療機関と情報交換をしながらよりよい安全確保に努めていきたいと思っています。

平成30年度 職員総会を通して感じたこと

総会実行委員長 こうなん訪問看護ステーション 理学療法士 正木 寛



平成30年7月15日に、岡山国際交流センターにて『平成30年度 自由会 職員総会』を執り行いました。職員総会は毎年行われており、昨年度の反省と今年の目標を改めて確認しています。その内容は、昨年度の事業報告と会計報告、10年・20年勤続者表彰、職員表彰、部署表彰、新人紹介、講演と盛りだくさんです。

勤続表彰では、長年自由会を支え貢献してくださっている職員をたたえ表彰します。10年勤続者は5名、20年勤続者表彰は3名でした。表彰者からは勤続の秘訣とその理由の話をしていただきました。最後に、各所属長から感謝が込められたコメントをいただき、メッセージカードが贈呈されました。

職員表彰では、昨年度の総会でのワールドカフェのテーマであった「交流分析」をもとに、表彰を行いました。病院とクリニックでそれぞれ5名ずつ表彰し、部署表彰では、「好きな部署・憧れている部署」で2つの団体を表彰しました。記念品とともに職員からの心温まるメッセージカードを贈呈しました。

新人紹介では、新入職員16名に自己紹介をしていただきました。ユーモアあふれるスピーチ、そして明確に目標を設定して話す姿は頼もしく感じました。当法人は院内だけでなく地域に出て活躍する職場です。新入職員が地域の方々に頼られるように、サポートしていきたいと思える内容でした。

講演では「在宅医療」をテーマに、医療法人悠翔会院長の佐々木淳先生をお招きし、講演をしていただきました。病院で働いているとなかなか想像しづらい在宅医療の実際をわかりやすく説明していただきました。患者様の意思決定支援についての話や高齢者にとって怖いものは病気よりも衰弱であるという考えが基盤にある中で、その食支援の具体的な内容は、これまで私たちが取り組んできたことのない驚愕な内容で感銘を受けた講演でした。悠翔会では「最期まで安心して暮らせる街」を目標に、多職種や地域住民にむけた合同研修会を行っているそうです。地域住民が豊かな生活を送るために、多職種を巻き込んだ活動も在宅医療を行う上でとても重要な役割だと感じました。

総会実行委員11人で「職員一人一人のために動く」ということを意識し、目標達成のためにチーム一丸となって総会の準備を進めてきました。今回、総会を通して学んだことを、自由会に関わる地域住民の方々に還元できるように自由会職員が法人一丸となって活動していきたいと思えます。





～RUN伴2018岡山エリア～

RUN伴2018岡山エリア 実行委員代表 こうなんクリニック 事務長 知野見友弘

RUN伴（ラントモ）とは認知症の啓発イベントの一つで認知症の方が「地域で安心して暮らせるまちづくり」をコンセプトに、地域の方に認知症や認知症の方のことを理解していただくためのイベントです。

全国40カ所以上で開催された今年のRUN伴ですが、岡山エリアは10月13日（土）に認知症当事者の方、そのご家族をはじめさまざまな方がタスキを繋ぎ岡山市、倉敷市、笠岡市内を駆け抜け無事ゴールすることができました。

今回は150名を超える方が参加し大変盛り上がりましたが、自由会職員は其中で実行委員としてイベント運営のサポートを行いました。

このイベントを通じて、地域の方々に認知症や認知症の方のことを理解していただき、健常な方も認知症の方も地域で共生できる社会への一歩に繋がればと考えています。



ソフトボール同好会活動報告



現在、岡山光南病院ソフトボール同好会は約20名が参加しており、年に一度の大会に向けて、士気を高め合っています。

11月19日に、その大会である病院対抗ソフトボール大会に出場しました。フィットネスインストラクターや医師、情報管理技術者等、部署の垣根を越えて、見事なチームワークを発揮しました。さらに選手の方による熱い声援も加わり、士気は最高潮に達しました。しかし、残念ながら初戦敗退となりました。試合には負けましたが、アットホームな雰囲気の中、試合後には軽食を楽しみ、とても有意義な時間となりました。

～こんな在宅勉強会 リニューアル～

こうなん在宅勉強会 事務局 こうなんクリニック 事務長 知野見友弘

自由会では回復期リハビリテーション病院などから退院された方が自宅や施設で安全、安心に生活ができるようシームレス(継ぎ目のない)なサービスを提供しています。今後は自由会内だけではなく近隣施設の医療・介護・福祉関係者の方とも密接な連携を図り、より良いサービスを提供したいと思っています。

こうなんクリニックではこれまでも在宅勉強会を定期的に開催していましたが、近隣施設の医療・介護・福祉関係者の方にも気軽に参加していただける形へリニューアルしました。在宅医療や介護にかかわることをテーマに、ここで情報共有できたことを地域に還元できればと思っています。

2カ月に1度定期的で開催していますので、近隣の医療・介護・福祉関係者の方は気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先

こうなんクリニック 事務長 知野見
TEL: 086-282-7122

チノミ



病院からの訪問リハ開始

岡山光南病院 理学療法士 中野 佳奈

平成30年8月より、病院からの訪問リハビリが開始となりました。

退院直後は、入院生活から自宅での生活に切り替わり、環境や活動量が変化することで痛みや疲労、一時的な混乱などが生じやすい時期です。

特に退院直後の自宅での生活の不安が解消できるように、ご自宅の環境に合わせて必要なリハビリを個別で行います。

入院中に関わり、経過を把握しているリハビリスタッフが継続してリハビリを行います。週2回程度、40～60分。約3カ月の短期間集中での介入後、通所サービスや自主練習へ移行できるようサポートさせていただきます。

対象：当院回復期に入院され、介護保険をお持ちの状態でご自宅退院される方

リハビリスタッフより、ご利用に当たっての説明をさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。





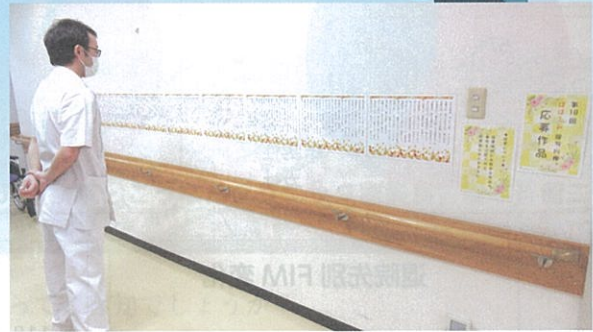
ほほえみプロジェクト



第10回ほほえみ俳句・川柳に162句

記念すべき第10回目を迎えた「ほほえみ俳句・川柳」の入選作品が決定しました。受賞者の皆さま、おめでとうございます。日々の介護生活やリハビリ中に思い付いた句、西日本豪雨復興を願う句、お孫さんやペットを想う句など、今回も幅広いジャンルの作品が集まりました。

ご応募、投票いただいた皆さま、誠にありがとうございました。すべての受賞作品はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



◆常務理事賞

これが理想! もぐもぐタイムで 報・連・相
こうなん訪問看護ステーション そだねー

◆病院院長賞

今日もまた「はじめまして」と 祖母笑顔
福岡県 ぷるるん

◆看護部長賞

お年寄り お笑いよりも おもしろい
島根県 角森 多久哉

◆専務理事賞

のんびりを しましたと書く ダウンの子
岡山県 強妻家

◆事務部長賞

「すみません!」 夢が夢となる 昼休憩
岡山光南病院 来嶋 智野

◆こうなんクリニック賞

デイの日は 母が化粧し 生き生きと
埼玉県 といちゃん

ほほえみ
保育園

マクドナルドショー 「レッツ・オブ・ファン」

ほほえみ保育園 園長 齋藤 尚美

平成30年10月2日(火) マクドナルドのキャラクター、 دونالد マクドナルドさんがほほえみ保育園に来院し、「レッツ・オブ・ファン」Donaldショーを開催してくれました。

今回は保護者の方にも参加していただきました。親子でどんなことをしてくれるのかワクワクしながら待っていると、大きなDonaldの登場に驚きと戸惑いと喜びと…。いろいろな表情でしたが、楽しいことをたくさん準備してくれていたのので、あっという間にニコニコ笑顔になりました。

Donaldとお父さんや子どもたちとのキャッチボール。音楽に合わせてDonaldと手遊び。

そしてバルーンアートでお花のプレゼントもいただきました。

最後にマクドナルドのスタッフの皆さんがハンドベルの演奏をしてくれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

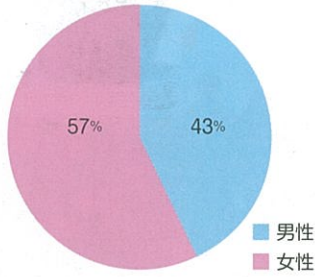
Donaldさんそしてマクドナルドのスタッフの皆さん、楽しい貴重な時間をありがとうございました。

今後も親子とのふれあいを大切にほほえみの輪に包まれながら笑顔あふれる保育をしていきたいと思っております。

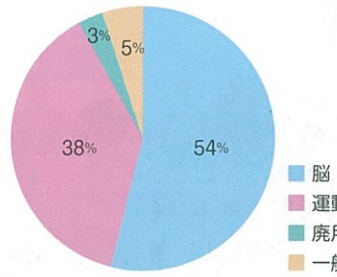


平成29年度 回復期リハビリテーション病棟実績

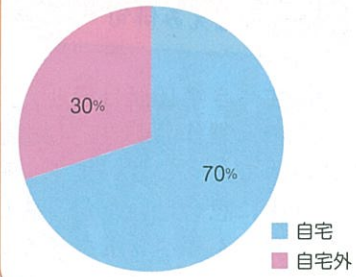
入院患者性別



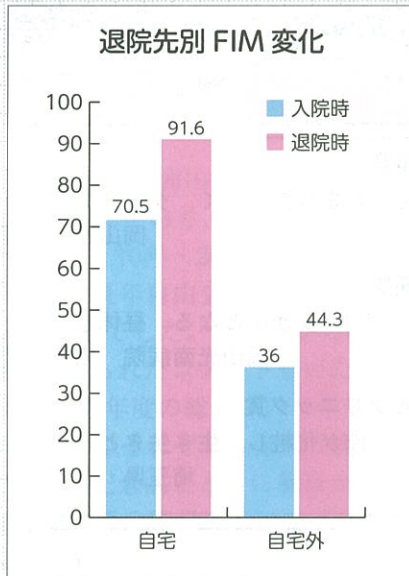
入院患者割合疾患別



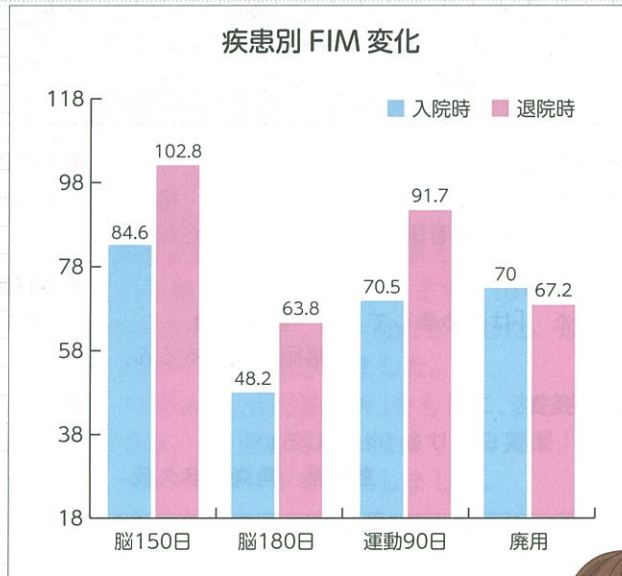
退院先



退院先別 FIM 変化



疾患別 FIM 変化



施設基準届出状況

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- リハビリテーション充実加算
- 体制強化加算1
- 疾患別リハビリテーション
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料1
 - 運動器リハビリテーション料1
 - 呼吸器リハビリテーション料1
 - 廃用症候群リハビリテーション料1



入院患者数	265名
退院患者数	265名
平均年齢	78.5歳
平均在院日数	62.4日
在宅復帰率	84.9%

外来診察担当医表

	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科(予約)	9:00~12:00	三好	森田				
内科	9:00~12:00		中村	橋本	中村	中村	担当医
整形外科	9:00~12:00	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
内視鏡(胃・予約)	9:00~12:00		橋本				
摂食・嚥下(予約)	14:30~15:00		担当医			担当医	

内科 胃腸科 呼吸器科 循環器科 整形外科 リハビリテーション科

午後は訪問診療・予約検査のみとなります。

*受付時間 午前：8:30~11:30

*診察時間 午前：9:00~12:00

休診日 日曜・祝日

※外来診察表は、都合により変更することがあります。お電話でお確かめください。

基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細やかな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明を行い患者さんの選択に基づいた開かれた医療を行います。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護を行います。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にしたいチーム医療を進めます。



医療法人 自由会 岡山光南病院

岡山市南区東畦767-3 TEL086(282)0555

ホームページ <http://medical-jiyukai.jp/>

H 30.11.1